

## 感染症患者発生情報（週報）

### 埼玉県内情報 2025年 第7週（2月10日～2月16日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	3人	類型	無症状病原体保有者 3人
		血清型	O157 1人、O115 1人、不明 1人
四類感染症 レジオネラ症	1人	病型	無症状病原体保有者
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5人	菌種	<i>Enterobacter</i> sp. 2人、 <i>Klebsiella</i> sp. 2人、 <i>Serratia</i> sp. 1人
クリプトスポリジウム症	1人	推定感染地域	国内
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1人	血清群	G群
後天性免疫不全症候群	2人	病型	AIDS 1人、無症状病原体保有者 1人
侵襲性インフルエンザ球菌感染症	2人		
侵襲性肺炎球菌感染症	1人		
梅毒	8人	病型	早期顕症Ⅰ期 6人、早期顕症Ⅱ期 2人
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2人	菌種	<i>Enterococcus faecium</i> 2人
百日咳	21人	年齢階級	0歳 1人、8歳 1人、9歳 1人、10歳代 13人、20歳代 1人、30歳代 2人、40歳代 2人

#### <定点把握対象疾患の患者情報>

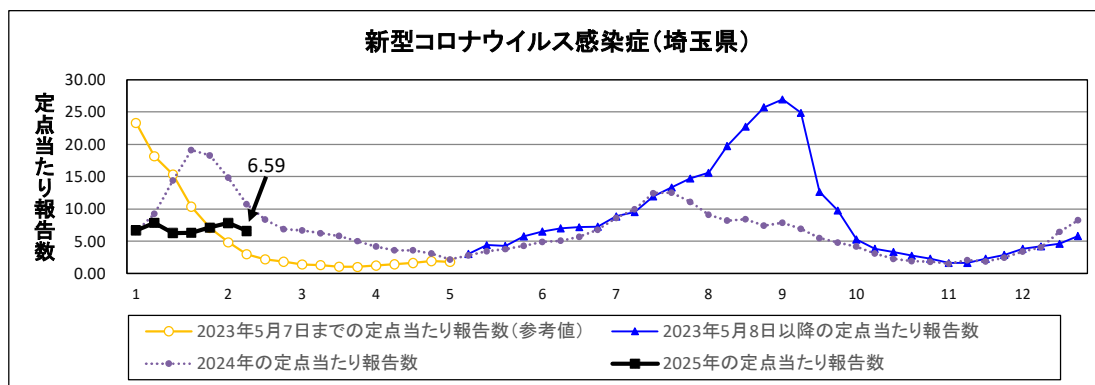
新型コロナウイルス感染症（7.83\*→6.59:図1）の定点当たり報告数は、前週と比較して同水準であった。保健所別では、依然として幸手（13.50）保健所管内からの報告が非常に多い。基幹定点における入院患者の報告は48人（前週48\*人）であり、年齢階級別では、70歳以上が約60%であった。伝染性紅斑（1.85\*→1.40:図2）の定点当たり報告数は、第4週以降、減少傾向が続いているものの、依然として多い状況にある。保健所別では、春日部（2.00→5.00）保健所管内からの報告が大きく増加し、南部（2.80）保健所管内からの報告も多い。RSウイルス感染症（0.95→1.04:図3-1,2）の定点当たり報告数は、第4週以降増加傾向にあり、過去4年の同時期と比較して高い水準にある。保健所別では、南部（3.60）、幸手（2.67）、熊谷（2.13）保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、1歳以下が全体の約63%であった。感染性胃腸炎（8.88\*→8.95:図4）の定点当たり報告数は、前週と同水準であり、やや多い状況にある。インフルエンザ（4.20\*→2.95:図5）の定点当たり報告数は、前週と比較して減少した。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎5人、流行性角結膜炎9人の報告があった。基幹定点報告疾患では、細菌性髄膜炎1人、マイコプラズマ肺炎11人、感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）6人、インフルエンザ（入院）6人の報告があった。感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）は2週連続で増加した（1人→3人→6人）。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ（URL：<http://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idschtml/>）で御覧になれます。

\* 遅れ報告・修正報告を反映した値を掲載。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第7週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 伝染性紅斑の定点当たり報告数の推移

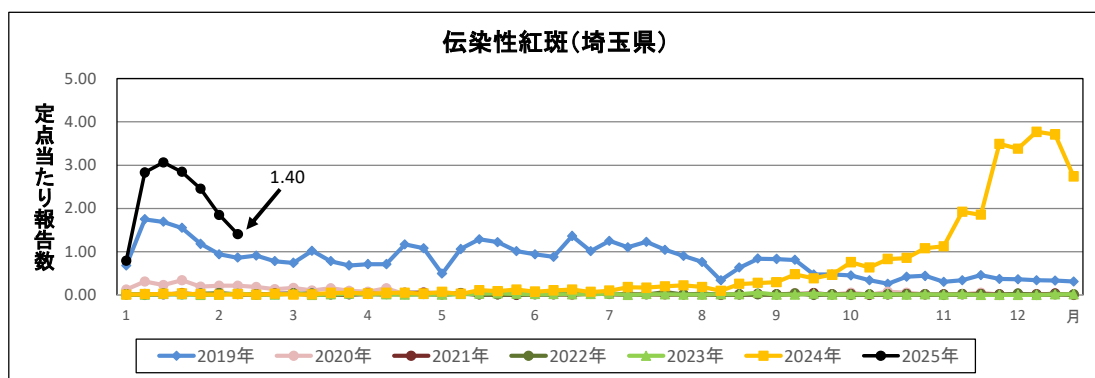


図3-1 RSウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

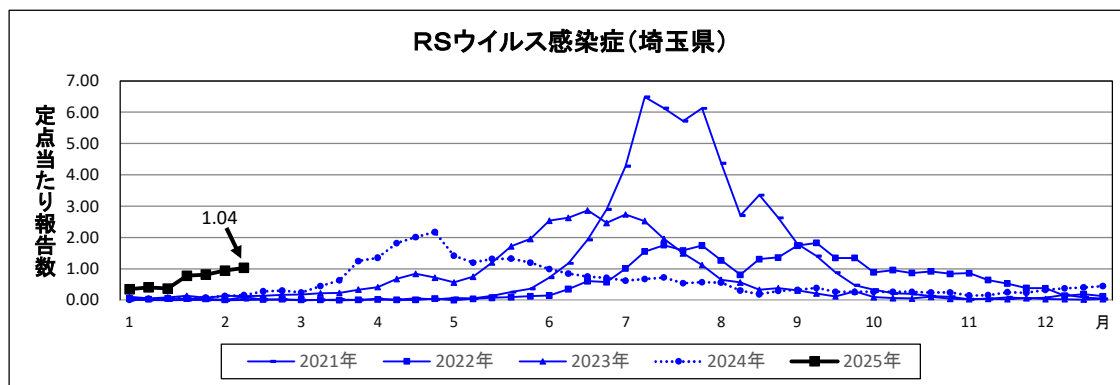


図3-2 RSウイルス感染症の保健所別流行状況の推移（2025年第5週～第7週）

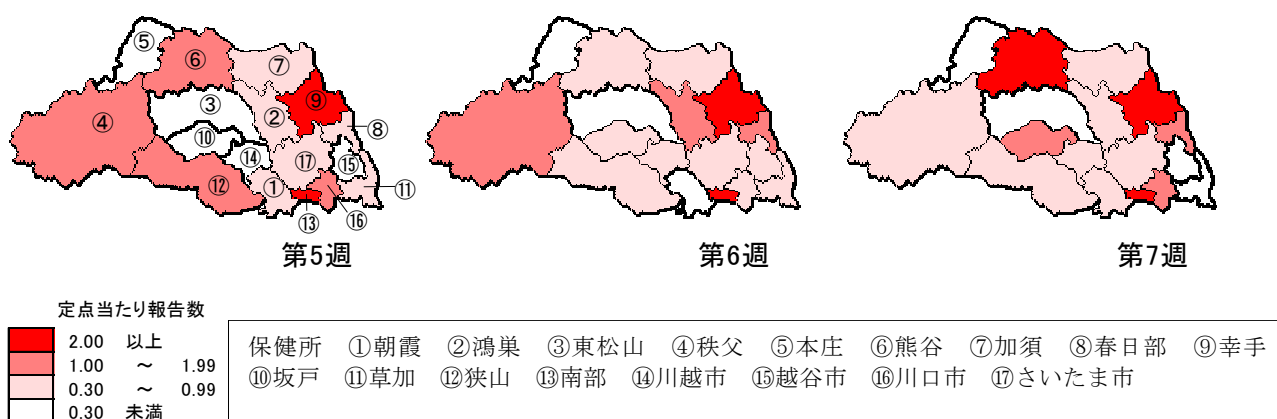
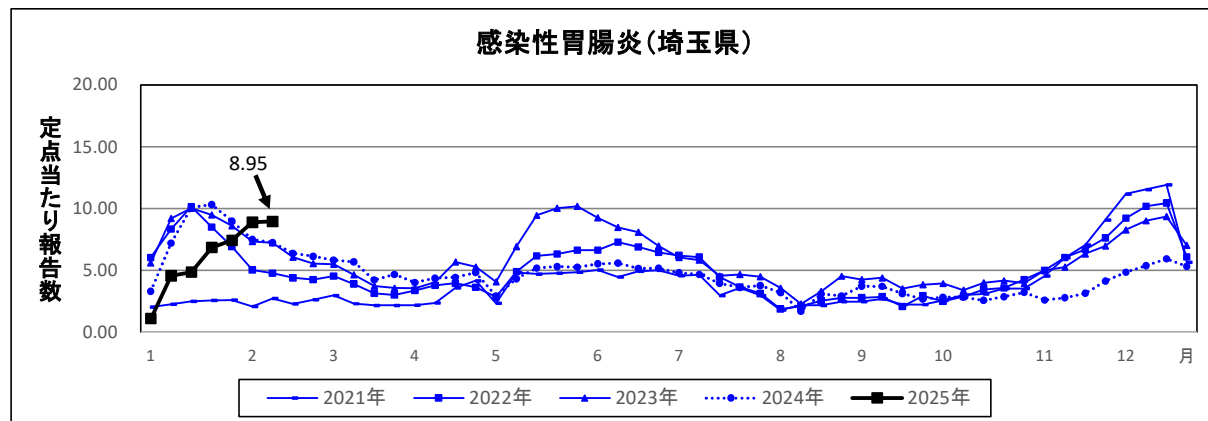
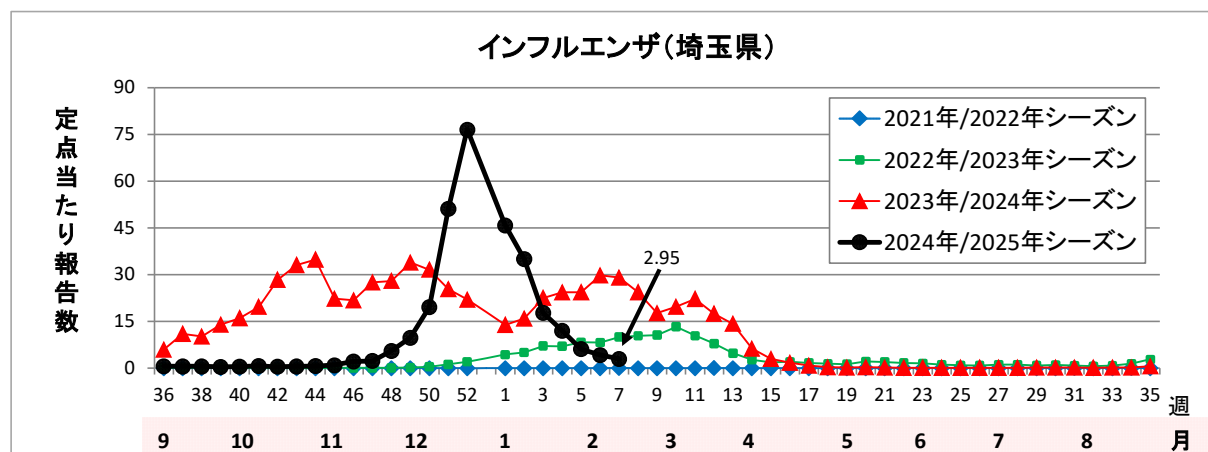


図4 感染性胃腸炎の定点当たり報告数の推移



<インフルエンザ流行情報(第7週) -小児科定点・内科定点からの報告->

図5 インフルエンザの定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第7週)

(2025年2月18日 16:15集計)

	今週 届出	累 計	2024年 累計		今週 届出	累 計	2024年 累計
<b>一類感染症</b>							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
<b>二類感染症</b>							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*1	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
<b>三類感染症</b>							
コレラ				腸チフス			2
細菌性赤痢			2	パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症	3	5	183				
<b>四類感染症</b>							
E型肝炎			39	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ*(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎		1	4	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			1
エムボックス				日本脳炎			1
黄熱				ハンタウイルス肺症候群			
オウム病				Bウイルス病			
オムスク出血熱				鼻疽			
回帰熱				ブルセラ症			1
キャサナル森林病				ベネズエラウマ脳炎			
Q熱				ヘンドラウイルス感染症			
狂犬病				発しんチフス			
コクシジオイデス症				ボツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			3
重症熱性血小板減少症候群				野兎病			
腎症候性出血熱				ライム病			1
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			1
チクングニア熱				レジオネラ症	1	12	141
つつが虫病		1	3	レプトスピラ症			1
デング熱			11	ロッキー山紅斑熱			
<b>五類感染症</b>							
アメーバ赤痢		1	26	侵襲性肺炎球菌感染症	1	35	97
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		1	17	水痘(入院例に限る)		3	5
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5	19	103	先天性風しん症候群			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			1	梅毒	8	50	477
急性脳炎		8	28	播種性クリプトコックス症		1	8
クリプトスポリジウム症	1	1		破傷風		2	2
クロイツフェルト・ヤコブ病		2	2	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	11	108	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2	2	
後天性免疫不全症候群	2	8	33	百日咳	21	68	172
ジアルジア症				風しん			1
侵襲性インフルエンザ <sup>a</sup> 菌感染症	2	5	30	麻しん			8
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	1	薬剤耐性アシネトバクター感染症			1

累計は診断日で集計

\*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

## 結核届出状況(2025年1月分)

2025年1月の届出総数は、患者33人、疑似症患者1人、無症状病原体保有者30人の計64人であった。前月と比べると患者数は減少し、無症状病原体保有者数は同水準であった。過去1年と比べると、患者数は少なく、無症状病原体保有者数は多かった。推定感染地域は国内38人、国外10人、不明16人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2024年1月～2025年1月)

	2024年*												2025年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	累計**	
<b>総計</b>	69	72	55	54	51	61	61	48	59	64	58	76	64	64	
<b>年齢階級</b>															
10歳未満	2	1	1	2	2	1	0	0	1	1	1	1	2	2	
10歳代	0	2	0	1	1	0	0	0	0	2	0	2	0	0	
20歳代	2	6	8	7	6	3	13	6	6	4	4	11	7	7	
30歳代	9	6	1	3	2	6	2	5	4	6	0	6	5	5	
40歳代	4	8	6	5	4	5	3	2	0	6	5	4	1	1	
50歳代	6	9	5	6	5	8	9	6	8	9	9	7	13	13	
60歳代	6	12	3	3	7	9	5	9	8	7	4	9	6	6	
70歳代	16	10	12	11	9	10	14	9	17	7	12	10	13	13	
80歳代	19	14	15	10	12	13	12	7	9	17	18	17	8	8	
90歳以上	5	4	4	6	3	6	3	4	6	5	5	9	9	9	
<b>性</b>															
男	36	48	30	28	27	37	43	29	39	36	32	44	43	43	
女	33	24	25	26	24	24	18	19	20	28	26	32	21	21	
<b>類型</b>															
患者	46	44	36	37	40	43	37	33	37	40	35	43	33	33	
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染症死亡疑いの死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
疑似症患者	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	
無症状病原体保有者	22	27	19	17	11	18	24	15	22	23	23	33	30	30	
<b>病型</b>															
肺結核	31	31	20	22	24	32	24	17	26	29	24	30	22	22	
肺結核及びその他の結核	5	2	3	5	4	1	6	5	4	4	3	5	4	4	
その他の結核	10	11	13	10	12	10	7	11	7	7	8	8	7	7	
疑似症患者	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	
無症状病原体保有者	22	27	19	17	11	18	24	15	22	23	23	33	30	30	
<b>推定感染地域</b>															
国内	47	37	25	34	29	35	31	25	28	38	40	50	38	38	
国外	3	8	4	6	6	9	9	2	3	3	4	6	10	10	
不明	19	27	26	14	16	17	21	21	28	23	14	20	16	16	

\*:2024年の届出数は暫定値

\*\* :2025年1月からの累積届出数

1月に診断された64人を病型別にみると、肺結核は20歳代以上の年齢階級から計22人の報告があり、60歳代以上が17人で約77%であった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2025年1月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
<b>総計</b>	22	4	7	1	30	64
<b>年齢階級</b>						
10歳未満	0	0	0	0	2	2
10歳代	0	0	0	0	0	0
20歳代	3	0	1	0	3	7
30歳代	0	0	0	0	5	5
40歳代	0	0	0	0	1	1
50歳代	2	1	1	0	9	13
60歳代	2	1	1	1	1	6
70歳代	7	0	1	0	5	13
80歳代	2	1	1	0	4	8
90歳以上	6	1	2	0	0	9

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2025年第7週

2月10日~2月16日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1	感染症	感染症												#2		#3				
全 県	報告数 771	1,720	170	47	377	1,468	56	10	230	26	-	7	5	9	1	-	11	-	6	6	48	
	2.95	6.59	1.04	0.29	2.30	8.95	0.34	0.06	1.40	0.16	-	0.04	0.12	0.21	0.08	-	0.92	-	0.50	0.50	4.00	
朝 霞	報告数 53	166	12	3	60	141	12	-	17	3	-	1	-	2	1	-	4	-	3	-	7	
	2.30	7.22	0.80	0.20	4.00	9.40	0.80	-	1.13	0.20	-	0.07	-	0.50	1.00	-	4.00	-	3.00	-	7.00	
鴻 巣	報告数 67	129	10	7	29	82	-	-	19	-	-	1	-	1	*	*	*	*	*	*	*	
	3.53	6.79	0.83	0.58	2.42	6.83	-	-	1.58	-	-	0.08	-	0.33	*	*	*	*	*	*	*	
東 松 山	報告数 8	36	-	-	8	59	2	-	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
	1.00	4.50	-	-	1.60	11.80	0.40	-	0.80	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	3.00
秩 父	報告数 18	19	1	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	1	3
	3.60	3.80	0.33	0.33	-	-	-	-	0.67	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	1.00	3.00
本 庄	報告数 21	46	-	1	-	4	6	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	3.00	6.57	-	0.25	-	1.00	1.50	0.25	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00
熊 谷	報告数 20	68	17	2	9	51	2	-	3	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	6
	1.54	5.23	2.13	0.25	1.13	6.38	0.25	-	0.38	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	6.00
加 須	報告数 24	56	2	1	-	7	2	1	2	3	-	-	-	2	-	-	2	-	1	1	4	
	2.40	5.60	0.33	0.17	-	1.17	0.33	0.17	0.33	0.50	-	-	-	2.00	-	-	2.00	-	1.00	1.00	4.00	
春 日 部	報告数 55	71	8	9	34	63	-	-	30	2	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	5.50	7.10	1.33	1.50	5.67	10.50	-	-	5.00	0.33	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
幸 手	報告数 63	189	24	2	21	54	1	-	12	1	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	4.50	13.50	2.67	0.22	2.33	6.00	0.11	-	1.33	0.11	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	報告数 12	92	11	-	7	76	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	1.20	9.20	1.83	-	1.17	12.67	0.33	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00
草 加	報告数 65	150	3	-	13	136	7	1	14	2	-	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	3.42	7.89	0.25	-	1.08	11.33	0.58	0.08	1.17	0.17	-	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
狭 山	報告数 81	177	15	8	47	107	1	1	16	-	-	1	4	1	-	-	2	-	-	-	2	
	3.24	7.08	0.94	0.50	2.94	6.69	0.06	0.06	1.00	-	-	0.06	0.80	0.20	-	-	2.00	-	-	-	2.00	
南 部	報告数 29	45	18	-	40	64	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
	3.63	5.63	3.60	-	8.00	12.80	-	-	2.80	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	2.00	
川 越 市	報告数 28	101	4	1	16	50	2	1	11	4	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	2.00	7.21	0.50	0.13	2.00	6.25	0.25	0.13	1.38	0.50	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	報告数 66	86	1	1	11	53	8	-	9	2	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	
	5.08	6.62	0.13	0.13	1.38	6.63	1.00	-	1.13	0.25	-	-	-	-	-	-	1.00	-	2.00	-	1.00	
川 口 市	報告数 31	135	17	2	45	169	2	1	28	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
	1.55	6.75	1.31	0.15	3.46	13.00	0.15	0.08	2.15	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	3.00
さいたま市	報告数 130	154	27	9	37	352	9	4	43	7	-	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	10
	3.02	3.58	0.96	0.32	1.32	12.57	0.32	0.14	1.54	0.25	-	0.04	0.11	0.11	-	-	1.00	-	-	-	-	10.00

( - : 0.00 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

2月

18日

14:15 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)	報告患者数		年齢別																		
	合計	-6カ月-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
インフルエンザ #1	771	2	6	24	25	19	38	38	51	52	40	54	193	60	36	42	37	27	15	9	3
新型コロナウイルス感染症	1,720	14	14	44	32	36	17	32	24	43	33	40	232	112	132	204	187	176	149	113	86
	合計	-6カ月-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~							
RSウイルス感染症	170	31	32	44	26	20	8	3	1	1	1	-	2	-	1						
咽頭結膜熱	47	1	1	8	6	9	8	2	2	-	4	1	3	-	2						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	377	1	-	10	20	23	44	36	41	51	46	33	52	9	11						
感染性胃腸炎	1,468	7	64	176	142	133	146	105	122	82	87	64	181	26	133						
水痘	56	-	-	2	3	1	2	-	4	4	8	10	19	1	2						
手足口病	10	-	1	1	2	-	2	2	-	-	1	-	1	-	-						
伝染性紅斑	230	-	1	8	18	34	44	38	33	17	16	11	10	-	-						
突発性発しん	26	-	6	13	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	7	-	-	-	-	1	1	2	1	-	-	1	1	-	-						
	合計	-6カ月-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~		
急性出血性結膜炎	5	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	1	2	1	-	2	-	-
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~				
細菌性髄膜炎 #2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	11	-	2	3	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	6	1	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
新型コロナウイルス感染症(入院)	48	1	4	3	3	-	2	1	-	-	1	-	2	-	2	-	-	-	-	29	

※ 表中の数値は各定点からの報告数( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第5週 (1月27日～2月2日)

令和7年2月19日

## <全国情報>

**インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:**インフルエンザの定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は山形県(16.02)、新潟県(14.94)、沖縄県(13.32)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は665例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(18例)、1～9歳(115例)、10代(28例)、20代(5例)、30代(10例)、40代(10例)、50代(44例)、60代(60例)、70代(118例)、80歳以上(257例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は長野県(8.61)、宮城県(8.40)、福島県(8.15)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は2,062例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(50例)、1～9歳(52例)、10代(18例)、20代(20例)、30代(33例)、40代(50例)、50代(109例)、60代(181例)、70代(510例)、80歳以上(1,039例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの):**RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第2週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は北海道(1.93)、大阪府(1.73)、奈良県(1.59)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は富山県(1.03)、京都府(0.80)、宮城県(0.64)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第2週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は山形県(0.81)、岩手県(0.31)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は青森県(3.86)、福島県(2.78)、千葉県(2.64)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は大分県(0.08)、富山県(0.07)、石川県(0.07)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.13)、岡山県(0.09)、福井県(0.08)である。

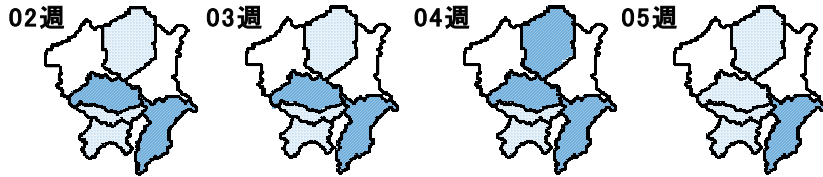
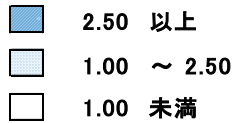
**基幹定点報告疾患:**マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福井県(2.83)、青森県(2.00)、岐阜県(1.60)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は3週連続で増加した。13都道府県から30例報告があり、年齢群別では1～4歳(12例)、5～9歳(15例)、10代(3例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2025年 第5週(1月27日～2月2日):通巻第27巻 第5号 より

## <関東情報>

伝染性紅斑の定点当たり報告数は、千葉県(2.64)からの報告が多い。

### 伝染性紅斑



2025年 05週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 28,943 定点当たり 5.87	7,976 5.23	558 4.65	519 6.83	761 8.95	1,599 6.13	1,205 5.91	1,586 3.79	1,748 4.83
新型コロナウイルス感染症	報告数 29,869 定点当たり 6.06	8,755 5.74	912 7.60	554 7.29	507 5.96	1,861 7.13	1,531 7.50	1,548 3.70	1,842 5.09
RSウイルス感染症	報告数 2,677 定点当たり 0.86	645 0.67	35 0.47	47 0.98	66 1.25	134 0.82	59 0.46	174 0.66	130 0.57
咽頭結膜熱	報告数 901 定点当たり 0.29	190 0.20	14 0.19	25 0.52	11 0.21	41 0.25	19 0.15	54 0.21	26 0.11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 7,810 定点当たり 2.50	2,550 2.66	338 4.57	100 2.08	52 0.98	483 2.95	526 4.11	671 2.55	380 1.67
感染性胃腸炎	報告数 21,458 定点当たり 6.86	7,406 7.73	461 6.23	306 6.38	436 8.23	1,218 7.43	1,140 8.91	2,276 8.65	1,569 6.88
水痘	報告数 594 定点当たり 0.19	194 0.20	10 0.14	8 0.17	10 0.19	34 0.21	13 0.10	61 0.23	58 0.25
手足口病	報告数 316 定点当たり 0.10	67 0.07	-	8 0.17	12 0.23	19 0.12	4 0.03	14 0.05	10 0.04
伝染性紅斑	報告数 2,833 定点当たり 0.91	1,762 1.84	62 0.84	98 2.04	41 0.77	403 2.46	338 2.64	470 1.79	350 1.54
突発性発しん	報告数 618 定点当たり 0.20	182 0.19	6 0.08	17 0.35	14 0.26	37 0.23	15 0.12	50 0.19	43 0.19
ヘルパンギーナ	報告数 34 定点当たり 0.01	10 0.01	1 0.01	-	1 0.02	2 0.01	1 0.01	2 0.01	3 0.01
流行性耳下腺炎	報告数 95 定点当たり 0.03	43 0.04	-	1 0.02	2 0.04	8 0.05	9 0.07	7 0.03	16 0.07
急性出血性結膜炎	報告数 32 定点当たり 0.05	9 0.04	-	-	-	7 0.17	1 0.03	1 0.03	-
流行性角結膜炎	報告数 503 定点当たり 0.72	162 0.78	44 2.59	10 0.83	9 0.69	22 0.52	16 0.47	19 0.49	42 0.84
細菌性髄膜炎 #2	報告数 8 定点当たり 0.02	2 0.02	-	-	-	-	1 0.11	1 0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数 7 定点当たり 0.01	1 0.01	-	-	-	-	-	-	1 0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数 296 定点当たり 0.62	55 0.63	11 0.85	6 0.86	11 1.22	9 0.75	2 0.22	11 0.44	5 0.42
クラミジア肺炎 #3	報告数 1 定点当たり 0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数 30 定点当たり 0.06	4 0.05	-	2 0.29	-	1 0.08	-	1 0.04	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)



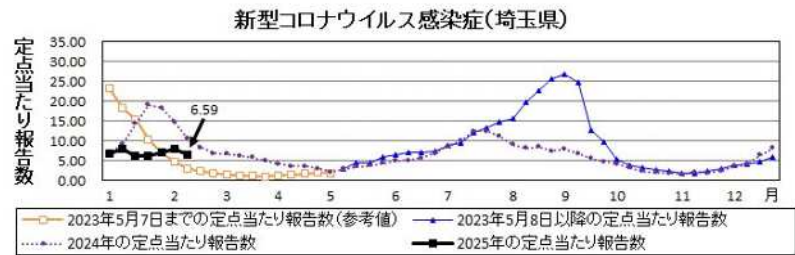
- 感染症発生動向調査 2025年**
- ▶ [感染症の流行状況 2025年 第1週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第2週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第3週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第4週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第5週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第6週](#)

## 感染症の流行状況 2025年 第7週

2025年第7週（2月10日～2月16日）の要点

[新型コロナウイルス感染症](#)の定点当たり報告数は6.59であり、前週と比較して同水準となりました。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



**感染症流行状況**

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	↓	★★	<a href="#">手足口病</a>	→	★
<a href="#">新型コロナウイルス感染症</a>	→	—	<a href="#">伝染性紅斑（りんご病）</a>	↓	★★★★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	↑	★★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱（プール熱）</a>	→	★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↓	★	<a href="#">流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	→	★★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	↓	★★
<a href="#">水痘（みずぼうそう）</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	↓	★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）\*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい→★、★★、★★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

